

2024 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題  
総合型選抜 D方式/E方式 1期・2期 共通

## 入試問題

試験科目：「事前課題型 小論文」

日 程：【1期】2023年10月16日(月)～19日(木)

【2期】2023年12月11日(月)～14日(木)

試験時間：出願時に事前提出 / 解答字数：800字程度

教育 学部 子ども 学科 領域

対象コース： \_\_\_\_\_

※学生募集要項に事前課題として、各学科・領域別に掲載します。

### [課題]

子どもは、家庭や保育所、幼稚園、小学校など、さまざまな環境に身を置きながら、仲間や友達と共に、学習や遊び、日々の生活を通して育ちます。家庭や保育所、幼稚園、小学校などのいずれも、子どもの育ちを支え、成長や発達を促していくという点は変わりありません。そして、教員や保育者は、集団や仲間・友達との関わりを育てつつ、子ども一人一人の望ましい育ちを促します。

そこで、子どもにかかわる大人の一人として、子ども同士の友達関係(関わり合い)を豊かにするには、どのように子どもと接すればよいと考えますか。教員・保育者・ボランティアスタッフとしてなど、自分の立場を想定したうえで、自身の経験や知識などを踏まえ、考えを述べなさい。

[出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

課題文のとおり、子ども達はさまざまな環境に身を置きつつ、仲間や友達と共に育っていく。特に、仲間関係より一歩進んだ友達関係から受ける育ちへの影響は大きく、その中には大人では与えることが難しいような影響も含まれる。そのため、子ども達の友達関係を豊かにすることは、子どもの育ちを支えるという点からも重要である。

本出題の意図は、子どもと関わる大人の一人として、ある明確な立場に立ったうえで子ども達と接することを意識したときに、豊かな友達関係とはどういうものであると考え、どのように子どもと接することが友達関係を豊かにすることにつながると考えるのかについて問うことである。採点の際には、自らの立場を明確にしているか、課題文のなかでは暗黙の前提としている「友達関係の重要性」や「豊かな友達関係」とはなにかについて触れているか、展開する自らの考えについてこれまでの経験や知識などを踏まえて論じることができているかに主眼を置く。